

2021年3月

## 相談室のブドウの木

今回は、植物品種登録・アグリビジネス相談室のブドウの木を紹介させていただきつつ、ブドウの豆知識を纏めてみました。



(左) 圃場で見つけた冬眠中のカエル。(右) 植え付けたブドウ苗

### 1. 植物品種登録・アグリビジネス相談室のブドウの木

昨年の12月に、山梨県のブドウ専門の苗木の会社様から、ブドウの苗木を3本購入しました。カタログを何度も確認をして、比較的育てやすそうで、すぐに苗木を用意してただけそうなものを選びすぎりました。「ポートランド」という米国の品種、「赤嶺」、「選抜ブラックオリンピア」という日本の品種です。すぐに圃場に植え付けをし、今は棒切れのような状態ですが、この中から最もよく育ったものを、植物品種登録・アグリビジネス相談室のブドウの木としたいと考えています。

苗木が届いたときにその荷物のコンパクトさと軽さに、本当に3本入っているのかと驚いたのですが、完璧な根洗いと荷造りの様には正にプロの仕事と感銘を受けました。今は、つながりのあるブドウ農家様の下で、オンラインで栽培法を勉強しています。これまで、ブドウといえば、ホームセンターで購入したピオーネを育てたことがあるくらいですが、時々、相談室のブドウの木の成長をご報告できればと考えています。

## 2. 栽培ブドウの由来

栽培ブドウ品種は、中東、地中海地方あたりが原産とされる Vitis vinifera (ヨーロッパブドウやヴィニフェラ種とも称される)と、北アメリカあたりが原産とされる Vitis labrusca (アメリカブドウやラブルスカ種とも称される) との何れかに由来するとされています。

日本にはヤマブドウ等の野生種が存在し、最近ではジュースやワイン等の加工品も販売され始めておりますが、分類学上は、栽培ブドウ品種とは異なる系統に属します。興味深いことに、ヤマブドウは、栽培ブドウ品種とは異なり雌雄異株で、雌の木のみには果実が実るという特徴があります。最近では、ヤマブドウと栽培ブドウ品種とを交配した新しいブドウ品種も生み出され、産業利用がされているようです。

## 3. 日本でのブドウの栽培やワインの醸造

日本のブドウの生産量（2018年 農林水産省作物統計）は、山梨県、長野県、山形県、岡山県の順だそうです。ちなみに、当所発祥の地である大阪府は、ブドウの生産量で堂々の7位にランクインしております。柏原市や羽曳野市の丘陵地帯は、昔からブドウの生産で名高く、以前は大阪府がブドウの生産量で全国一を誇っていたこともあったそうです。今でも優れたワイナリーもありますし、手軽にブドウ狩りも楽しめます。

ところで、ワインの生産量は神奈川県が第一位です（国税庁課税部酒税課の統計より）。少々意外な気もいたしますが、藤沢市にあるメルシャンの醸造所での醸造量が大きく貢献をしています。

なお、日本ワイン（国産ブドウを原料として国内醸造されたワイン）に限れば、やはりイメージ通り、山梨県、長野県、北海道などが生産量の上位に来ることになります。

以 上